

夏だいこんの日PR

J A全農岐阜がフェア

「夏だいこんの日」の11日、全国農業協同組合連合会岐阜本部（JA全農岐阜）は岐阜市橋本町のカネ井青果アクティブG店を開き、来店客にスティック



旬を迎えた「夏だいこん」をPRした試食販売フェア
＝岐阜市橋本町、カネ井青果アクティブG店

状のダイコンを振る舞ってPRした。

JA全農岐阜は、冬に収穫されるダイコンと比べて知名度が低い夏に採れるダイコンの消費拡大と産地振興に向け、7月11日を「夏だいこんの日」として日本記念日協会に登録。ダイコンの形を連想させる「11」の数字にあやかった。試食販売フェアは登録を記念し

て県内4カ所のほか、関西地域でも行った。

ひるがの高原だいこんは郡上市高鷲町の高冷地で育ち、みずみずしさと甘み、シャキシャキとした食感が特長。6月から10月上旬まで出荷され、県内では1本200～300円ほどで売られている。

カネ井青果の藤井雅人社長は「大根おろしやサラダでさっぱりと味わうのがおすすめ」と紹介。JA全農岐阜の西村寿文県本部長は「厳しい暑さを前に、消化酵素やビタミンCを含む夏だいこんを食べて夏バテを予防して」と呼びかけた。
(佐合千子)